



なかのなっちょ隊 通信

H30年度

Vo.8

～支え合いの地域へ～



なかのなっちょ隊（中野市第1層協議体）とは

「なっちょだい？」と声をかけあいながら、みんながつながって支え合えるよう、**地域が求めているもの、地域に求められているもの、をみんなで考え、見つけ、情報を発信していく場。**

参加団体：

社会福祉協議会、北信総合病院、ジェイエイ・アップル、高水福祉会、シルバー人材センター、介護支援専門員連絡会、民生児童委員協議会、長寿社会開発センター北信支部、中野市

1月28日、第11回なかのなっちょ隊`が開催され、昨年11月に行われた支え合いの地域大交流会の振り返りをし、2月18日開催予定の「みんななっちょだい？」にむけて話し合われました。

大交流会の振り返りでは、
「なっちょ隊`各参加団体が協力して周知にあたったことが、予想以上の参加者につながった。」
「まだまだ知られていない『お宝（活動）』が眠っている。地域に力があることがわかった。」
「実際に会って、話し、顔の見える関係を作る大切さを実感した。」



「出展団体活動をもっと周知できるよう、いつでも誰でも活動を知れるようにできないか。」
「活動を知る場にはなったが、支え合いの地域づくりについて学ぶ場も必要ではないか。」
等の意見が出され、来年度は大交流会がより良いものとなるような取り組みを重点的にやっていこうということとなりました。

また来年度に向けて、『特別なことをしているのではないが、日々をイキイキと元気に過ごしている高齢者』『おすそ分けや、ついでのゴミ出し等のちょっとした支え合い』が、なかのなっちょ隊`が目指す地域づくりににおいて大切な事であり、その考えが地域全体で意識できるような取り組みもしてみてもどうか、との意見も出されました。

みんななっちょだい？
 話そう！「支え合いの地域づくり」

高齢化率の増加、地域とつながりの希薄化、変化した家族・世界のあり方、等の、現代社会の中で、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、地域に住む一人一人の活動が鍵として地域について考え、ときには話し合いをして協議し、互いに支え合えることが大切です。

中野市では多種多様な人材・団体による「地域について語り合い、考える場」である「なかのなっちょ隊」（なかのなっちょだい）が開設されています。

【支え合いの地域づくり】実践の場、活動の場、支え合いの場、と、みんなが支え合っている場、と、思いを強く感じ、一緒に考えます。

日時 平成31年2月18日（月） 午後1時30分～3時30分
 場所 中野市民会館2階 41号会議室
 問合せ 中野市高齢者実務課 電話：22-2111（内線366）

中野市社会福祉協議会 電話：26-3111
 中野市シルバー人材センター 電話：26-0408
 北信総合病院 電話：26-2150
 ジェイエイ・アップル 電話：26-6900
 高水福祉会 電話：0269-81-2771

申込不要、どなたでも参加いただけます。
 お茶やコーヒーを飲みながら、11月に行われた交流会について、支え合いの地域づくりについて、みんなで楽しく自由に話し合おう、大勢の皆さんのご参加を、お待ちしております。

そして、今後予定されている2月18日「みんななっちょだい？」では地域のみなさんの想いが実現できるよう、なっちょ隊`各団体もそれぞれ何ができるのかを事前に考えて参加していこう、と確認しました。

安心して年齢を重ね暮らしていけるよう、地区全体で「支え合い」や「あったらいいな」と思うものを、考えてみませんか？

生活支援コーディネーター活動日誌

【長野県シニア大学】

県シニア大学はこれまで座学中心の講座を展開していましたが、超高齢社会を迎える現状において、学生となるシニア世代が卒業後地域と関わりを持てる人材となれることを目的とし、社会活動講座も取り入れた形に近年変わりました。



活動計画から自分達で考えます。

2年間の受講期間の中で、学生それぞれが興味を持ったこと、得意な事に関連した活動を地域の中で実際に行います。

そのなかで、地域の課題に気づき、仲間作りの大切さを実感し、活動していく上で必要なもの(相談・協力機関や補助金等)を身につけていきます。

地域での活動は、集いの場・傾聴・学校支援・生活支援・健康づくり、等々多岐に渡ります。

これまで私も何度も参加させていただきましたが、シニア大生の皆さんの熱量の高さにはいつも驚かされ、地域での活動の多様性を勉強させていただいています。

今年度も新たに地域に巣立つシニア大生達がありますが、その想いが途絶えないよう、地域とつながっていけるよう、関わりを持ち続けたいと想います。



子供達と郷土食づくり。

「知らなかったことが沢山学べた。」

「自分自身が楽しめた。」

「いくつになってもチャレンジできる。」



活動の集大成！
活動内容を発表し、みんな
で想い共有します。

「意外と難しかったこともあった。
でも楽しめた。」

「これからも続けたい！」

【メモ】生活支援コーディネーターとは…

支え合いの地域づくりに向けて、

- ①地域の中で支え合い活動が生まれるよう、広がるよう、人・場・活動・情報、などをつなぎます。
- ②地域の支え合い活動(『地域のお宝』)を、目に見えるように・活用できるように・役割がわかるように、発信します。

ちょっとした困り事を手助けしてくれるようなボランティアさん、地区の方が気軽に集まれるような場、高齢者に優しいお店やサービス、地域の中で活躍されている方等の「地域のお宝」情報を教えてください☆



中野市高齢者支援課
生活支援コーディネーター:小島杏子
電話:22-2111(内線 366)